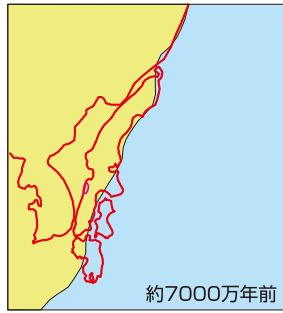


大陸から分かれた日本列島

大陸の時代

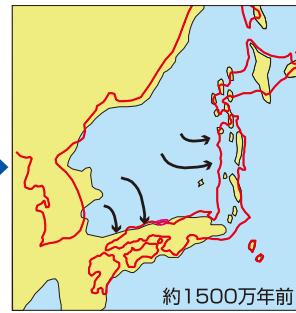
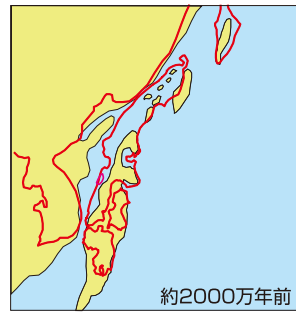
はるか昔、日本列島はまだ大陸の一部でした。そこでは火山活動がおこり、地表には火砕流が流れ、地下深くではマグマがゆっくり冷えて花崗岩などができました。



※山北ほか(1997)および平(1990)をもとに作成

日本海形成の時代

大陸の縁辺が割れ始めました。大地が割れるときにできた窪地には川や湖ができ、そのほとりにソウやシカなどの動物たちが暮らしていました。その後大地のへこみは拡大し、日本海になりました。火山活動は、多くの火山岩を生み出しました。



花崗岩の岩石海岸
(浦富海岸・岩美町)



大陸時代の花崗岩
(田井の浜・新温泉町)



ソウの足跡化石
(竹野海岸・豊岡市)



日本海形成初期の火山岩(溶岩)
(獅子の口・新温泉町)



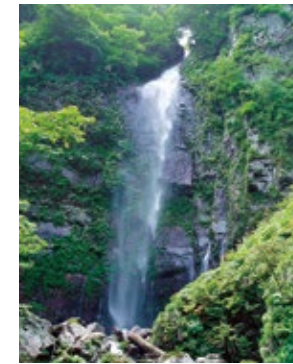
日本海形成後期の火山岩(岩床)
(立岩・京丹後市)

日本列島の活動と現在

日本列島がほぼ現在と同じ形になりました。大地の活動は継続し、複数の火山が活動して、同時に海岸にはリアス海岸や段丘が、山には深い谷や美しい滝ができました。平野や盆地、砂丘ができ、やがて人々がこの地に住むようになりました。



山陰海岸ジオパーク



日本列島形成後の火山活動により噴出した火山岩と、その後の侵食でできた滝(霧ヶ滝・新温泉町)



河川で日本海に運ばれた砂が、潮流や風により集められた砂丘(鳥取砂丘・鳥取市)

地層の重なりが一目で分かる露頭



鎧の袖(香住海岸)

かつて日本列島は大陸の一部でしたが、およそ2000万年前ごろから分かれ、日本海ができました。

山陰海岸ジオパークには、日本海ができはじめてから、現在に至るまでのさまざまな地質や地形が残されています。

豊かな生態系

多様な地形・地質が豊かな生態系を育みました。



トウテイラン



コウノトリ



イヌワシ



ブナ林



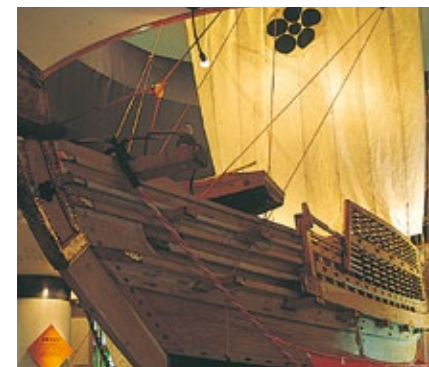
バイカモ



オオサンショウウオ

ジオがもたらした文化と暮らし

山陰海岸地域特有の多様な文化、産業が観光資源として活用されています。



北前船



棚田



温泉



漁業



スキー場



グルメ